

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

		石川県		
目的	生産規模の拡大等			
目標	製氷コスト、労務費の削減	1		
事業実施主体	石川県漁業協同組合			
実施地区	西海地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	令和2年度	令和4年度		
助成金額	117,318,000円			
事業計画の内容	漁業生産に必須である氷について、漁協が自家製氷でまかないきれない場合、外部から角氷を仕入れているため、高い仕入となる。漁協が自家製氷とすることで生産者の経費削減効果による競争力強化にともない経営の安定を支えることができる。また、漁協として角氷仕入を行わないことで入出庫作業がなくなる労務軽減に労務環境改善			
評価	取組の目標（KPI）	（一人当たりの）漁業所得		
		基準年	平成29年度：漁業所得 242千円	
		現状値	令和4年度：漁業所得 2,548千円	増加率 952%
		目標値	令和4年度：漁業所得 374千円	増加率 54%
	成果目標	角氷の受入廃止によるコスト削減/製氷労務費削減		
		現状値	令和4年度末時点	0円/8,492,044円
		目標値	令和4年度末	0円/7,741,193円
	(1) 現状値の説明	角氷と自家製氷した場合の単価差に角氷供給量を乗じて換算した。 製氷労務費は直近5年の平均値とした。繁忙期3か月は2名体制で行っていたところ角氷の受入がなくなることで常時1名体制が可能となった。		
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	外部からの角氷仕入を自家製氷とすることで生産者の経費削減効果により経営の安定を図ることができた。また、角氷の受入業務がなくなったので労務軽減や他業務への従事により鮮魚の安定的な供給体制を構築することができた。		
	(3) 所見	適正に管理運営が行われている。		
(4) 評価機関への意見等	-			
今後の改善方向等に関する分析	角氷の受け入れ廃止によるコスト削減により漁業者の製氷受入れの待機時間の短縮を図るとともに製氷労務費の削減により漁協の販売職員の業務を漁業者の利便性を図るための他業務へ従事させることを継続する必要がある。			